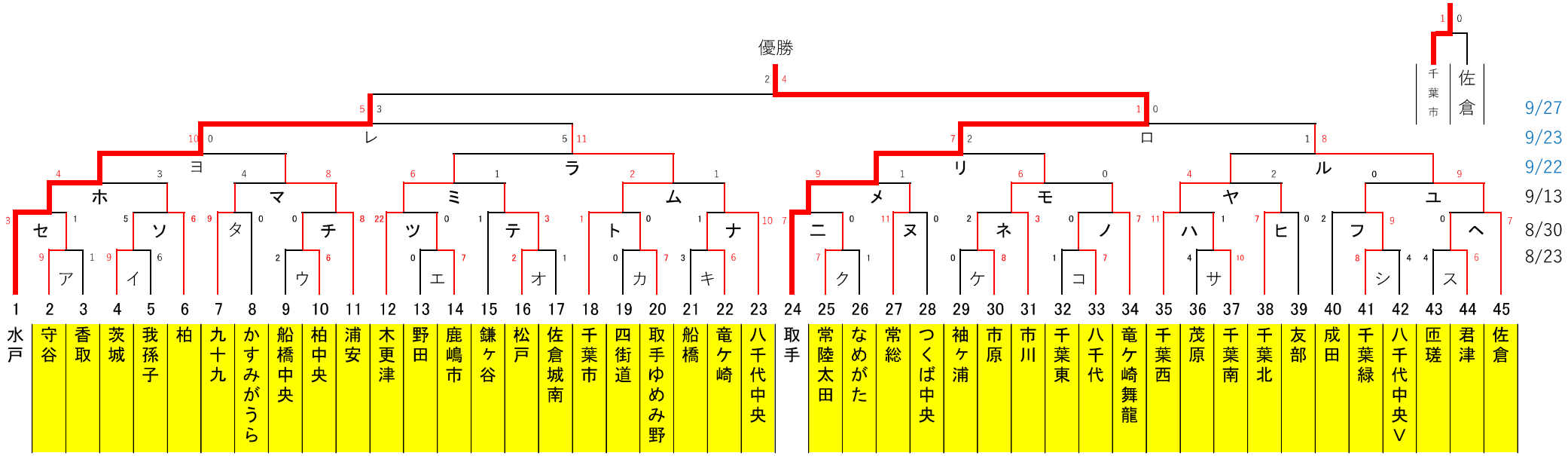
2026 王道家杯リトルシニア東関東支部秋季大会　大会要綱

出場資格	東関東支部 茨城ブロック 13チーム、千葉ブロック 30チーム(東ブロック 6、西ブロック 12、南ブロック 12)、計 45チーム（複数登録チーム含む）に所属する登録選手（休部：土浦）。	
関東大会 選考方法	支部大会のトーナメントよりベスト 4、敗者戦より 6チームの、計 10チームが秋季関東大会に出場する。	
日程 試合開始時刻	予定日：8月23日(日) 開会式・開幕　日曜日および祝日を利用した7日間。 予備日：中止になった翌週の土曜日。 第一試合 9:00、第二試合 11:00　第三試合 13:00を原則とする。	
審判員	支部派遣審判員並びに専任帯同審判員。	
大会規則	関東連盟大会規則による（同連盟ＨＰにアップされている）。 ただし、決勝戦にも4回１０点、5回7点のコールドゲームを適用する(3回13点を取り入れる)。 7回終了時もしくは、2時間を超えては新しいイニングには入らず、タイブレークに入る。（決勝戦も同様） タイブレークは決着がつくまで行うものとする。　（決勝戦も同様） DH制を導入する。 敗者戦も含めて、当初組み合わせ表の若番チームを1塁側とする。 選手カードとメンバー表のみの資格審査となる。メンバー表記載の際、誤りのないよう注意願います（ポジション、背番号など）。 チームはグランド到着後速やかにメンバー表と選手カードおよび合同チーム、複数出しのチームは登録書を提出願います。 用具確認はこれまでと変わらず実施致します。 投球制限は、日本リトルシニア関東連盟ガイドラインによる（様式Aと無記載の様式Bを本部に提出）。　試合 当日の天候（温度、湿度）により、グランド責任者判断でクーリングタイムを設ける場合がある。	
荒天時の対応	大雨等明らかに無理な場合を除き、天候不良の場合でも第1試合のチームは、基本的にグラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合すること。 グラウンド責任者は、天候不良の場合、天気予報、グランド状態を勘案し　支部競技部長と協議のうえ、極力早く中止又は待機を決定し該当チームに連絡する。 種々の都合により試合時間、グランド、審判員の配置等を変更することがある。	
表彰	優勝　・　準優勝　・　第3位　・　第4位	
大会競技委員		
グランド 提供チーム		
	グラウンド提供チームにやっていただくこと ・グラウンド使用料、役員・審判員弁当代の徴収、領収書発行。 ・役員および審判員の弁当手配（800円程度）。 ・グラウンド責任者は、試合経過を関東連盟のＨＰにアップする。	
グラウンド 使用料 役員・審判員 弁当代等	グラウンド 使用料	各チームは、当日朝グラウンド使用料として 1試合当たり2,500円を提供チームに支払う。 また、公営グランドの場合は 3,000円を支払う。
	試合球	試合球は、協会の公認契約スポーツメーカーの刻印が確認できる硬式球とする。 試合開始前メンバー表（5枚）交換時に3球、試合中不足分はその都度拠出する。 試合後、試合球は両チームに返却する。
	ロジン	試合で使用するロジンバックは。メンバー表交換時に確認し、両チームで管理する。
	役員・審判員 弁当代	各チームは役員及び審判の分として購入金額（800円/人）を出場チームで均等に割った金額を弁当代として提供チームに支払う。又、弁当代とは別に飲料代として各チーム1,000円を提供グランドに支払う
	審判員 交通費	派遣審判員並びに専任帯同審判員の交通費は、各チームが大会終了後、支部事務局からの規約に基づく請求により支払うものとする。

2026年　王道家杯東関東支部秋季大会



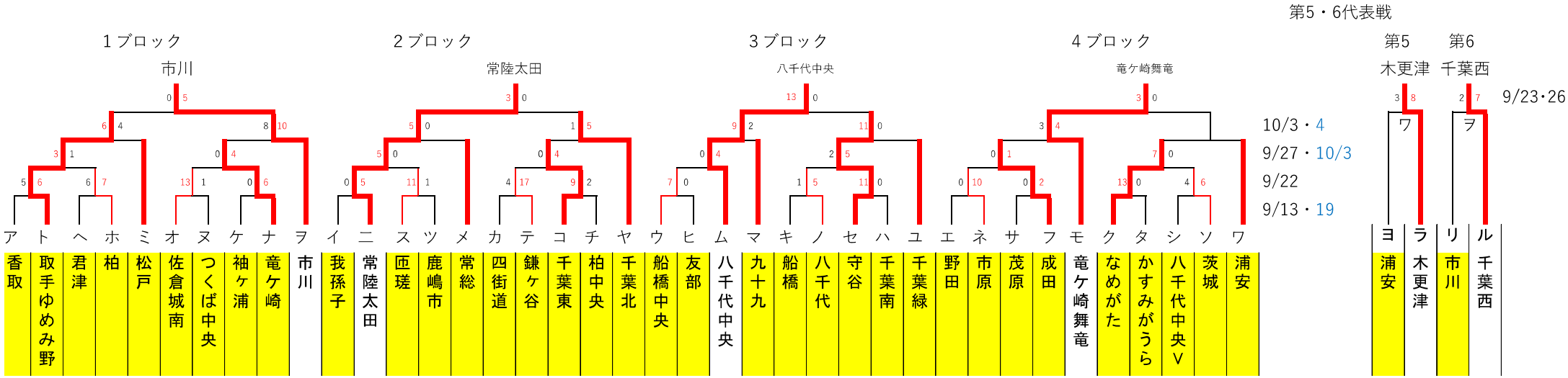
1位 取手　　2位 水戸　　3位　千葉市　　4位 佐倉　　第5 木更津　　第6 千葉西

1B 市川　　2B 常陸太田　　3B 八千代中央　　4B 竜ケ崎舞竜　　※第5・第6で負けたチーム入る枠番を7位・8位とする

シードチーム　　茨城ブロック：１位　水戸　・　２位　取手　・　３位　竜ケ崎舞龍

千葉ブロック：１位　佐倉　・　２位　八千代中央　・　３位　木更津　・　４位　浦安　・　５位　千葉西

敗者復活戦



第5・6代表戦

第5　第6

木更津　千葉西

9/23・26

ヨ 浦安　ラ 木更津　リ 市川　ル 千葉西

準決勝、5･6位決定戦、敗者2回戦　　*9月23日*　　*結果*

グラウンド	タイプ	第1試合			第2試合			第3試合
A　TOKIWAスタジアム	B	24	準決勝	45	1	準決勝	18	
		取手	1 － 0	佐倉	水戸	5 － 3	千葉市	
B　木更津	A	リ	5・6位決定戦	ル	ヨ	5・6位決定戦	ラ	
		市川	2 － 7	千葉西	浦安	特別継続試合	木更津	
C　山桑球場	A	テ		コ	ニ		ス	
		鎌ヶ谷	0 － 4	千葉東	常陸太田	5 － 0	匝瑳	

5･6位決定戦　　*9月26日*　　*予定*

グラウンド	タイプ	第1試合			第2試合			第3試合
A　木更津	A	ヨ	5・6位決定戦	ラ				
		浦安	特別継続試合	木更津				

決勝、3位決定戦、敗者3回戦　　*9月27日*　　*結果*

グラウンド	タイプ	第1試合			第2試合			第3試合
A　水海道球場	B	18	3位決定戦	45	1	決勝戦	24	
		千葉市	1 － 0	佐倉	水戸	2 － 4	取手	
B　砂沼球場	B	ニ		メ	セ		ユ	
		常陸太田	5 － 0	常総	守谷	11 － 0	千葉緑	
C　竜ケ崎KK	B	ナ		ヲ	ヨ	5・6位決定戦	ラ	
		竜ケ崎	8 － 10	市川	浦安	3 － 8	木更津	
D　九十九	B	ヤ		コ	マ		ム	
		千葉北	5 － 1	千葉東	九十九	2 － 9	八千代中央	
E　成田	A	モ		フ	ミ		ト	
		竜ケ崎舞龍	4 － 3	成田	松戸	4 － 6	取手ゆめみ野	

敗者代表戦･3回戦　　*10月3日*　　*結果*

グラウンド	タイプ	第1試合			第2試合			第3試合
A　千葉北	A	ト	1ﾌﾞﾛｯｸ代表戦	ヲ	ニ	2ﾌﾞﾛｯｸ代表戦	ヤ	
		取手ゆめみ野	0 － 5	市川	常陸太田	3 － 0	千葉北	
B　なめがた	B	セ	3ﾌﾞﾛｯｸ代表戦	ム	ワ		ク	
		守谷	0 － 13	八千代中央	浦安	10 － 4	なめがた	

敗者代表戦　　*10月4日*　　*結果*

グラウンド	タイプ	第1試合			第2試合			第3試合
A　竜ケ崎KK	B	ワ	4ﾌﾞﾛｯｸ代表戦	モ				
		浦安	0 － 3	竜ケ崎舞龍				

2025/10/5

2025関東大会タイムテーブル

第一試合

※7時30分グランド借り入れ会場の場合

Aタイプ・7分7分が有る会場		Bタイプ・7分7分が無い会場	
7時40分までに提出物（※１）を本部席（理事）へ提出してください。		7時40分までに提出物（※１）を本部席（理事）へ提出してください。	
7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング	7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング
7:40	グランド解放 グランドイン後ベンチ前に 用具を並べて用具チェック・ その後外野でアップ ※寒い時期はバッテリーに限り ボールの使用を可能とする場合が ある。（理事の判断） 用具チェック後攻守決め ＊バックネット前 又は本部席	7:40	グランド解放 グランドイン後ベンチ前に 用具を並べて用具チェック・ その後外野でアップ 遠投・トスバッティングは シートノック迄可能 用具チェック後攻守決め ＊バックネット前 又は本部席
8:20	トスバッティング（7分以内） ＆キャッチボール（7分以内）		
8:40	シートノック　＊７分以内	8:40	シートノック　＊７分以内
9:00	試合開始	9:00	試合開始

第一試合開始は9時とし、早く開始しないようご協力をお願いいたします。
（1日3試合予定・天候によっては早めの開始は可能とします。）

第二試合

第二試合目以降のチームはグランド到着後速やかに提出物(※1)を本部席（理事）への提出を願い致します。

本部役員はアップ会場や用具チェックの時間やタイミングなどを説明する。

※3回終了を目安に攻守決めを行う。

※用具チェックは原則グラウンドイン後ベンチ前にて行う。(天候やなど時間短縮などで変更となる場合あり)

※当日のグランドコンディションや天候などにより予定のタイムテーブルと異なる事もあります。

※１提出物（選手カード・指導者カード・メンバー表・投球数確認シート様式A）

グランド到着後、速やかに監督が本部席に提出をお願い致します。

※選手を並べての資格審査は行いません。(カードとメンバー表の照合のみとなります)

関東連盟　競技部

（ Ver.10.0　　2024/10/16 ）

＜様式 A＞

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】（試合終了後チームで保管）

大会名 ：2026年 王道家杯東関東支部秋季大会

チーム名 ：

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																			
試合月日		／				／				／				／				／			
対戦相手		VS				VS				VS				VS				VS			
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
投球数カウント者 確認サイン（自チーム）																				
投球数カウント者 確認サイン（相手チーム）																				
監督 確認サイン																				

注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

【投球数制限】

①１日最大90球以内とする。
②連続する2日間で130球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目45球以内、2日目の投球数を45球以内とし、3日目の投球数を40球以内とする。但し、1日目、2日目で、当該打者の打席途中に、投球数が45球になった場合は、その時点で投球を打ち切らなければならない。4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ②の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。③の場合3日目のみ打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了まで投球を認め制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
⑤1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。(例：2ボール.1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
⑧雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

①試合終了後、本シート（原本）に両チーム投球数カウント者が投球数を記入し、サインをする。その後に、監督へ確認およびサインを受ける。
②監督は、サインされた本シート（原本）を次の試合まで保管する。
③監督は、連戦等の場合は開始前に本シート（原本）とコピー2部を大会本部へ提出する。
注）連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。

（ Ver.9.0　　2024/10/16 ）

＜様式 B＞ （1試合用）　投球数確認シート　【責任審判員保管（試合終了後）】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 ：2026年 王道家杯東関東支部秋季大会　　チーム名 ：

試合日 ：　　年　　月　　日　（第　　試合）　　球 場 名 ：

＜ 記 入 例 ＞　※上段：投球数を正の字で記入　※下段左：その回の投球数　※下段右：累計の投球数

背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本　一郎	90 (92) 球	正正正	正正正Ｔ	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注）五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記 入 欄 】

背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		球											球
			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

【投球数制限】　注）打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を(　)外、実際に投じた投球数を(　)内に記入する。

①１日最大90球以内とする。
②連続する2日間で130球以内とする。
③3連投（連続する3日間）する場合は、1日目45球以内、2日目の投球数を45球以内とし3日目の投球数を40球以内とする。但し、1日目、2日目で、当該打者の打席途中に、投球数が45球になった場合は、その時点で投球を打ち切らなければならない。
4連投（連続する4日間）は認めない。
④上記 ① ② の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にｶｳﾝﾄしない。③の場合3日目のみ打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了まで投球を認め制限数を超過した投球は投球数にｶｳﾝﾄしない。
⑤1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能とする。
⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。
また、12秒・20秒ﾙｰﾙに抵触して課せられたﾎﾞｰﾙは投球数にｶｳﾝﾄしない。
⑦申告敬遠は投球数にｶｳﾝﾄしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にｶｳﾝﾄする。
⑧雨などで特別継続試合になった試合も投球数にｶｳﾝﾄする。
⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】
・投球数ｶｳﾝﾄ者が様式Aへ転記し、試合終了後、責任審判員が保管する。